

一般財団法人 日本ビジネス技能検定協会 主催

第60回

# 医療事務(医科)能力検定試験

# 1級

令和7年10月施行

制限時間 90分

受験番号 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

## 注意事項

1. 解答用紙の決められた欄に、試験地、受験番号、氏名を記入してください。
2. 答えはすべて解答用紙の決められた欄に記入してください。
3. 制限時間は90分で、100点満点です。
4. この試験問題の解答は、令和6年6月1日現在施行されている法令等により答えてください。
5. この試験問題は診療報酬明細書(レセプト)作成のために創作したもので、医学的事実に基づいたものではありません。
6. 診療報酬点数表等の参考資料の使用を認めます。
7. 試験問題の内容についての質問には一切お答えしません。
8. この試験問題のページ数は、「1～8」です。

解答は解答用紙に記入のこと

【個別問題】

第1問 次の文中の（ ）に当てはまる語句または数字を、下記の解答群から選び、解答欄に記号で記入しなさい。

医療保険制度には、生活困窮者や特定の疾患にかかっている人などに限定して、医療費の（ ① ）または（ ② ）を公費で負担する制度がある。公費負担医療制度は、（ ③ ）と（ ④ ）に分類され、（ ③ ）では予防接種法などが、（ ④ ）では生活保護法などが定められている。

公費負担医療制度には法別番号が定められており、生活保護法による医療扶助は（ ⑤ ）、一類感染症等の患者の入院は（ ⑥ ）、結核患者の適正医療は（ ⑦ ）、結核患者の入院は（ ⑧ ）となる。

公費適用患者となった場合、受給証明書として、生活保護法では（ ⑨ ）を、結核患者の適正医療や入院では（ ⑩ ）が交付される。

解答群

- |       |       |            |         |             |
|-------|-------|------------|---------|-------------|
| a. 10 | b. 20 | c. 一部      | d. 医療券  | e. 地方公共団体   |
| f. 11 | g. 28 | h. 全部      | i. 患者票  | j. 公衆衛生関係   |
| k. 12 | l. 1割 | m. 介護保険    | n. 雇用保険 | o. 社会福祉関係   |
| p. 13 | q. 3割 | r. 被爆者健康手帳 | s. 広域連合 | t. 国民健康保険組合 |

第2問 次の診療報酬の算定方法についての文章を読み、正しいものを○、誤っているものを×とした場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選び、解答欄に記号で記入しなさい。

- ① ア てんかん指導料の算定にあたり、診療計画及び診療内容の要点を診療録に記載しなければならない。
- イ 集団栄養食事指導料は、1回の指導時間が30分を超えていれば算定することができる。
- ウ 手術後医学管理料は、手術料を算定した日から起算して3日に限り算定できる。
- エ 薬剤情報提供料は、処方した薬剤の名称や用法等の情報を文書により提供した場合に、外来、入院を問わず算定できる。

(組み合わせ)

	ア	イ	ウ	エ
a	○	×	×	×
b	○	×	○	○
c	×	○	×	×
d	○	×	○	×
e	×	○	×	○

- ② ア 調剤技術基本料は、同一月に薬剤管理指導料を算定している患者については算定できない。
- イ 複数の診療科を標榜する保険医療機関において、2以上の診療科で異なる医師が処方した場合は、それぞれの処方につき処方料を算定できる。
- ウ 3歳未満の乳幼児に対して精密持続点滴注射を行う場合は、注入する薬剤の種類にかかわらず精密持続点滴注射加算を算定できる。
- エ 人工腎臓には、血液透析のほか血液濾過、血液透析濾過が含まれる。

(組み合わせ)

	ア	イ	ウ	エ
a	×	○	×	○
b	×	○	○	×
c	○	×	○	○
d	○	×	○	×
e	○	○	×	○

- ③ ア 手術の準備をしていたところ、患者が来院しなかったとき又は患者が手術の術前において手術不能となった場合は保険給付の対象とならない。
- イ 輸血と補液を同時に行った場合は、輸血の量と補液の量は別々のものとして輸血料を算定する。
- ウ 疾患別リハビリテーション料の点数は、患者に対して 20 分以上個別療法として訓練を行った場合にのみ算定するものであり、訓練時間が 20 分に満たない場合は、基本診療料に含まれるため算定できない。
- エ 造影剤を使用して磁気共鳴コンピューター断層撮影を行った場合、すべての麻酔手技料は別に算定できない。

(組み合わせ)

	ア	イ	ウ	エ
a	○	×	○	×
b	×	○	×	×
c	○	○	○	×
d	×	×	○	○
e	○	×	×	○

- ④ ア 検体検査判断料は、同一月内において、同一患者に対して、入院及び外来の両方又は入院中に複数の診療科において検体検査を実施した場合においても、同一区分の判断料は、入院・外来又は診療科の別にかかわらず、月 1 回に限り算定できる。
- イ 外来迅速検体検査加算は、同一患者に対して、同一日に 2 回以上、その都度迅速に検体検査を行った場合でも、1 日につき 5 項目を限度として算定する。
- ウ 精神科専門療法料は、精神科を標榜する保険医療機関のみ算定できる。
- エ 通院・在宅精神療法は、同時に複数の患者又は複数の家族を対象に集団的に行われた場合でも算定できる。

(組み合わせ)

	ア	イ	ウ	エ
a	○	×	○	○
b	○	○	×	×
c	×	×	×	○
d	×	○	×	×
e	×	○	○	×

【総合問題】

問題 次の資料（Ⅰ～Ⅳ）を基にして、令和7年7月分の診療報酬明細書を作成しなさい。

資料Ⅰ

1. 施設の概要等

一般病院（内科、外科、整形外科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、麻酔科）  
病床数 一般病床 120 床  
一部負担金の徴収方法 定率制

2. 診療時間

月曜日～土曜日 9：00～17：00  
日曜日・祝日 休診

3. 職員の状況

医師数は医療法標準を満たしているが、標準を超えてはいない。  
薬剤師数及び看護職員（看護師及び准看護師）数は医療法標準を満たしている。  
常勤の管理栄養士1名、麻酔科医1名、画像診断医2名が勤務している。

4. 所在地

東京都 葛飾区（1級地）

5. 届出等

地域一般入院料 2  
平均在院日数 23 日  
看護師比率 70%  
診療録管理体制加算 2  
療養環境加算  
医療安全対策加算 2  
データ提出加算 1  
入院時食事療養（Ⅰ）  
薬剤管理指導料 2  
麻酔管理料（Ⅰ）  
検体検査管理加算（Ⅱ）  
画像診断管理加算 2

6. その他

7月診療分については、手術前医学管理料及び手術後医学管理料は算定しない。  
検査は全て当該保険医療機関内にて行った。  
院内感染防止対策、入院診療計画、褥瘡対策、医療安全管理体制、栄養管理体制、意思決定支援及び身体的拘束最小化についての基準を満たしている。  
医事会計システムは電算化されている。

健康保険  
被保険者証  
(被扶養者)

**家族**

記号 260 番号 8645 枝番 01

氏名 柏 七菜  
生年月日 平成12年3月4日  
性別 女  
資格取得年月日 省略  
被保険者氏名 柏 龍士

事業所名称 省略  
保険者所在地 省略  
保険者番号 01130012  
保険者名称 省略

## 診 療 録

公費負担者番号						保険者番号	0	1	1	3	0	0	1	2
公費負担医療の受給者番号						被保険者証記号・番号	260・8645 (枝番) 01							
受診者	氏名	柏 七菜				被保険者氏名	柏 龍士							
	生年月日	明・大・昭・ $\oplus$ ・令12年3月4日	男・ $\oplus$		資格取得	省略								
	住所	省略				事業所名称	省略							
	職業	省略	被保険者との続柄	家族		保険者名称	省略							
傷病名					職務	開始		終了		転帰				
(主) 甲状腺癌					上・外	令和 7年 7月 14日		令和 年 月 日		治ゆ・死亡・中止				
					上・外	令和 年 月 日		令和 年 月 日		治ゆ・死亡・中止				
					上・外	令和 年 月 日		令和 年 月 日		治ゆ・死亡・中止				
既往症・原因・主要症状・経過等							処方・手術・処置等							
<p>7. 7. 29(火) AM10:00</p> <p>7/14 外来にて超音波検査、細胞診を実施 検査の結果、甲状腺癌と診断 本日、手術のため入院</p> <p>入院診療計画作成および栄養管理計画を 共同で作成し、患者へ説明のうえ交付</p> <p>悪性腫瘍特異物質治療管理 (初回月)</p> <p>麻酔科医による術前診察実施 問題なし</p> <p>X-Pの結果について、画像診断医より 文書による報告 (詳細省略)</p> <p>処方薬剤について、薬剤師より薬剤管理指導</p> <p>本日禁食</p>							<p>7. 7. 29(火)</p> <p>B-ESR, 末梢血液一般, 像 (自動機械法) TP, Alb, ALP, LD, Bil/総, BUN, T-cho, Na, Cl 血液型 ABO, Rh (D) HBs 抗原定性・半定量 HCV 抗体定性・定量 CRP 定性</p> <p>CEA, NSE</p> <p>ECG12</p> <p>胸部単純 X-P (デジタル撮影) 画像記録用フィルム四ツ切 2枚</p> <p>Rp) セルシン錠 2mg 2T 1P</p>							

既往症・原因・主要症状・経過等	処方・手術・処置等
<p>7.7.30(水)</p> <p>麻酔科医による麻酔施術</p> <p>本日禁食</p>	<p>7.7.30(水)</p> <p>前投与</p> <p>アトピソ 1A</p> <p>シグゾラム 1A</p> <p>閉鎖循環式全身麻酔 5「ロ」 10:00~12:00</p> <p>液化酸素 (CE) 500L</p> <p>笑気 400g</p> <p>セブフレソ 100mL</p> <p>ワコスタグミン 3A</p> <p>エステックス 1V</p> <p>ラボナル 1A</p> <p>吸引留置カテーテル・受動吸引型・フィルム ・チューブドレン・チューブ型 1本</p> <p>膀胱留置用デイスボースカテーテル ・2管一般 (II) ・標準型 1本</p> <p>甲状腺悪性腫瘍手術 (切除・頸部外側区域郭清を伴わないもの)</p> <p>DIV { ラテック注 500mL 1袋 セファジソンα 1g 1V</p>
<p>7.7.31(木)</p> <p>術後経過良好</p> <p>麻酔科医による術後診察実施 問題なし</p> <p>本日はより流動食</p>	<p>7.7.31(木)</p> <p>術後創傷処置 2</p> <p>ドレーン法 (その他)</p> <p>DIV do</p>

## 資料IV

## 薬価基準

	品名	規格・単位		薬価(円)
【内用薬】	セルシン錠〔2mg〕	2mg1錠	向	6.00
【注射薬】	アトロピン硫酸塩注射液	0.05%1mL1管		95.00
	エスラックス静注 25mg/2.5mL	25mg2.5mL1瓶	毒 静	361.00
	セファメジンα注射用 1g	1g1瓶		346.00
	ミダゾラム注 10mg〔サンド〕	10mg2mL1管	向	92.00
	ラクテック注	500mL1袋		231.00
	ラボナール注射用 0.5g	500mg1管		919.00
	ワゴスチグミン注 0.5mg	0.05%1mL1管		96.00
【外用薬】	笑気〔小池〕	1g		3.20
	セボフレン吸入麻酔液	1mL		27.20
【その他】	吸引留置カテーテル・受動吸引型 ・フィルム・チューブ・トレン・チューブ型	1本		897.00
	酸素(液化酸素CE)	1L		0.19
	膀胱留置用ディスポーザブルカテーテル ・2管一般(Ⅱ)・①標準型	1本		561.00

第 60 回 医療事務（医科）能力検定試験 1 級 解答用紙

試験地	受験番号	氏名	得点

【個別問題】

第 1 問

①	②	③	④	⑤
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

第 2 問

①	②	③	④



診療報酬明細書 (摘要欄続紙)

--	--